

【緑地を楽しむ本】

『ICAN～希望の花の物語～』

栗山ひろみ/原作 種蒔友/編集・文 おおうちあす華/絵

Studio Dolittle



爆弾を落とされたまちに住んでいた少年は、親兄弟もなくし、戦争が終わっても、その心は重く沈んだままでした。

ある日、近所のおじさんが少年にバラの鉢植えをくれました。美しいバラの花は、少年の心に、明かりをともしたのです。

焼け野原を花で埋めつくそう、花を見た人みんなの心が明るくなって、戦争などなくなりますように・・・願いを込めて少年はバラ園を作りました。

いつまでも戦争は無くなりません。けれども人々の間に、戦争を止める試み（核兵器廃絶国際キャンペーン ICAN）が始まりました。

ある時バラ園に新しいバラが生まれました。

既におじいさんとなっていた少年は、平和への願いを込めて、そのバラに「I CAN」という名前を付けたのです。I CANは世界中に広まっていき、人々の心を励ましてくれます。

「武器はいらない、平和な世界を作ろう。

I CAN・・・きっとできる」

戦争は、現在もなお続いています。

「この物語は、まだ終わっていません。あなたもまた、つづきの未来を作る主人公の一人です」

この本の最後の言葉です。安心して楽しく生きていける日々のために、私も一輪でも花を咲かせたい、と思いました。

(小川)